学校番号	T3016

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	マルチメディア活用	単位数	２単位	年次	3・4年次
使用教科書	無し						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・システム開発の各段階をブロックの流れとして示すとともに、各作業段階もブロックの流れとして示し、全体像を把握しやすいようにする。

・マルチメディア技術の利用については、生徒にとって興味・関心があると考えられる内容を取り上げ、より具体的に説明する。

2　学習の到達目標

・情報処理システムの分析、設計、構築、運用などのコンピュータシステムに関する知識と技術を習得させ、ネットワークシステム、プレゼンテーション、マルチメディアシステムにおける分析、設計、構築、運用、保守などに実施に活用する能力と態度を育てること。
・画像(写真)の加工を用いた作品製作を目的とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・コンピュータシステムを構成するうえで必要な、システムの働きについて理解する能力と知識を備えている。 ・画像編集の基礎を理解し、知識として身につけている。 ・プレゼンテーション用ソフトを使いこなす技術がある。	・マルチメディアで扱う文字・音声・静止画像などの表現メディアの特性を理解しており、適切なメディアを選択して利用し、情報を発信することができる。 ・プレゼンテーションにおいて、話し方、相手への伝わり方、表現力などが身についている。	・マルチメディアシステムについて学習しようとする意欲を持ち、実際にそれらを活用する能力と態度が身についている。 ・コンピュータシステムや画像処理ソフト、プレゼンテーション用ソフトに対する関心、意欲を持ち、課題に取り組もうとする態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	コンピュータシステムの概要	・コンピュータシステムの構築、運用とマルチメディアこれらを利用したコンピュータシステムの例について理解する。	a:コンピュータシステムを理解するとともに、どのように利用されているかを理解する。 b:コンピュータシステムをどのように運用すれば良いか判断でき、画像処理の表現力を多面的に考察することができる。	確認テスト ワークシート	ワークシート レポート	
	マルチメディア技術	・マルチメディアで扱われる情報メディアの種類と特徴を理解させる。 ・外部データの取り組みができる。	a:マルチメディアを理解するとともに、どのように利用されているかを理解する。 b:外部データの入力や出力の仕方を考察することができる。 c:画像の入力や出力に意欲的に取り組んでいる。	確認テスト ワークシート	ワークシート レポート	レポート 観察
後期	ソフト活用	・プレゼンテーション用ソフトの基礎学習。 ・画像編集ソフトの基礎学習。	a: 画像編集ソフトの基礎的な操作を使用できる。 プレゼンテーション用ソフトの基礎的な操作を使用できる。 b: 画像編集ソフトやプレゼンテーション用ソフトの基礎操作を理解し、判断できる。 c:ソフトの基本操作の学習に意欲的に取り組んでいる。	基礎作品の制作	基礎作品の制作 レポート	基礎作品の制作 レポート 観察

後期	マルチメディア活用	・プレゼンテーション用ソフトの活用ができる。 ・画像編集ソフトの活用ができる。 ・発表作品の制作と提出	a: 画像編集ソフトを使い、画像を処理し、プレゼンテーション用ソフトを使い、発表することができる。 b: 画像編集ソフトの基礎を理解し、どのように画像処理するか判断できる。 プレゼンテーション用ソフトでの表現の仕方を思考することができる。 c:発表作品の制作に意欲的に取り組んでいる。	作品制作	作品制作 作品の発表 レポート	作品制作 作品の発表 レポート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度